

夢、私たちに。

わたしのひとこと



豊かな田園風景・農業を守る

飯田 横川 一登

少子高齢化・人口減少時代を迎え、農業も高齢化による農業従事者不足が心配されます。農業従事者の減少は、荒廃農地の増加につながり、観光に訪れた皆さんが素晴らしいアルプスの景観に感動しても、その麓に荒れ果てた農地を見るとき、どのように感じるでしょうか。農地も観光に生きる白馬村にとって大きな観光資源の一つであります。

今、農業収入は右肩下がり、農業に魅力が感じられず、健全な農地・農業を守る農業従事者は益々減少の一途。豊かな田園風景を守る農業従事者の確保には、安定した農業所得の向上が第一だと思います。個々経営では、なかなか所得向上も難しいので、所得向上が図れる農業構造の改革が必要ではないでしょうか。白馬村の健全な農地・農業が永続できる体制づくりを望みます。



シニア大学で楽しい日々

森上 峯村 千津子

平成30年5月に入学しました。ずっと行ってみたいかった所ですが、主人の介護と自分のガンの手術でほっとして振り返ったら、70歳になっていました。

お客様より「村外に友達ができてすごく楽しいよ」と聞いていました。入学の時はワクワクしました。クラブ活動もあり、私は炭植栽に入り小谷の先生の炭焼小屋も見せてもらいました。

長野県は長生きしても施設に入っている時間が長いようです。歩くことは頭を鍛えること、寝たきりにならないようにボケないように。信州にはこんな言葉が「キョウイク＝今日行く所がある」、「キョウヨウ＝今日用事がある」。

色々教えていただいても、すぐに忘れてしまう事が残念ですが、健康で過ごさなければという事を一番学びました。一日でも長く元気で過ごせる事を願いながら頑張る日々です。皆様もシニア大学に参加してみませんか。



白馬村と言えは？

佐野 中村 謙仁

白馬村には色々な魅力がありますが、白馬と言えは「これ！」と、白馬村民、日本国民、世界中の人々が同じ答えが出るのでしょうか？私は白馬村を観光地だと思っています。一人でも多くの人に白馬村に足を運んでいただくには、白馬と言えは「これ！」と答えられるものをより洗練し、他との差別化をしていかなければ、生き残るには難しいのではないのでしょうか。

白馬には、山・川・温泉・宿泊施設・飲食店・様々なアクティビティなど魅力はたくさんあります。村として先ずは何処に力を入れていくのか。村をより良いものにしていくには、「白馬と言えは？」を考えていくことが大切だと思います。外国から大勢の観光客の来村がありますが、日本人の観光客はどうでしょう！ここに来て、国内旅行客の誘致に本腰を入れるべきだと思います。

あとがき

平成最後の正月を迎えた。我が村の平成の一大イベントと言えは、長野冬季オリンピックの開催だ。だが神城断層地震、阪神淡路や東日本など、国全体としては地震や豪雨など多くの災害に見舞われた印象になるか。

天皇陛下最後の誕生日会見では、声を詰まらせながら「平成が戦争のない時代として終わることに、心から安堵している」と述べられた。とにかく戦争がなかった。真に平和を希求された方なのだ。

その平和への思いを次の年号へ受け継がれるのか。戦後憲法に加えられた地方自治の章に恥じない自治ができるのか。議会にも大きな責任がある。

(伊藤まゆみ)

議会報調査編集特別委員会

- 議長 北澤 慎二 郎
- 委員長 伊藤 まゆみ
- 副委員長 田中 麻乃
- 委員 丸山 勇太郎
- 委員 太田 正治
- 委員 加藤 亮輔
- 委員 田中 榮一
- 委員 津滝 俊幸

白馬議会だより 127号 平成31年1月31日発行
発行 長野県白馬村議会 編集 議会報調査編集特別委員会 PO印刷(株)
〒399-9393 長野県北安曇郡白馬村 0261-72-5000 FAX0261-72-7001
http://www.villhakuba.jp/assembly/assembly.html E-mail ghkai@villhakuba.jp